

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務Ⅱ Travel Agency Work-Domestic Travel Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(世界遺産検定試験受験対策)	特に無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理 観光学概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理 観光学概論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清	本館2階	火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
前期に学んだ国内観光資源に関する知識をベースとして、その学習の延長として話題性と注目度の高まる「世界遺産」に関し学習する。12月に実施される「世界遺産検定試験」の合格を目指すことと併せ、その歴史・文化的な価値の保護・継承と、観光資源としての活用のバランスについて考察していく。				
授業の目標				
①世界遺産検定試験の合格に向けた知識を修得できるようにする。 ②世界遺産検定試験の学習を通じ、楽しく効果的に世界遺産についての知識を修得できるようにする。 ③世界遺産の意義とその保護・継承の重要性、観光的な活用方法における取組と課題について修得できるようにする。				
授業の方法				
世界遺産の意義とその価値について、日本の世界遺産と世界の代表的な世界遺産を中心に、世界遺産検定3級公式テキストを使用して学習していく。				
学習の成果（学習成果）				
①世界遺産検定試験の合格に向けた知識を修得することができる。 ②世界遺産検定試験の学習を通じ、楽しく効果的に世界遺産についての知識を修得することができる。 ③世界遺産の意義とその保護・継承の重要性、観光的な活用方法における取組と課題について修得することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（講義の進め方）			
第2回目	世界遺産の学習①（世界遺産の基礎知識）			
第3回目	世界遺産の学習②（日本の世界遺産①）			
第4回目	世界遺産の学習③（日本の世界遺産②）			
第5回目	世界遺産の学習④（日本の世界遺産③）			
第6回目	世界遺産の学習⑤（人類の誕生と古代文明・アジア世界の形成と宗教①）			

第7回目	世界遺産の学習⑥（アジア社会の形成と宗教②・ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代）
第8回目	世界遺産の学習⑦（アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動・近代国家の成立と世界の近代化）
第9回目	世界遺産の学習⑧（テーマで見る世界遺産・世界の自然遺産）
第10回目	世界遺産の学習⑨（受検対策過去問題演習）
第11回目	世界遺産の学習⑩（地理検定試験から見る世界遺産）
第12回目	世界遺産の学習⑪（これから世界遺産を目指す候補たち）
第13回目	世界遺産の学習⑫（世界遺産調査報告①）
第14回目	世界遺産の学習⑬（世界遺産調査報告②）
第15回目	全体のまとめ・定期試験対策
事前・事後学習	事前：授業Scheduleに合わせて、教科書の当該部分を一読してから授業に臨む事 事後：授業での不明点は、次回授業までに調べ理解しておく事

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。必要なことはノートに取り、積極的に質問する。また、履修上の留意点・ルールをしっかり守れていること。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	世界遺産検定試験の受検結果及び定期試験の結果により総合的に評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

きほんを学ぶ世界遺産100（マイナビ出版）・2019国内観光資源（JTB総合研究所）
--

履修上の留意点・ルール

<p>●実務経験（職種：旅行業（国内旅行実務・海外旅行実務）、職歴：通算31年） 3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業途中での無断退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。</p>
